

2013年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議案

日時：2014年3月14日（金）16時00分～17時30分

場所：仙台管区気象台第3会議室

開会の挨拶

出席者紹介

議 題

1. 支部長挨拶	2 ページ
2. 役員交代	2 ページ
3. 2013年度事業報告	3 ページ
4. 2013年度会計報告	5 ページ
5. 2013年度会計監査報告	7 ページ
6. 2014年度事業計画案	8 ページ
7. 2014年度予算案	10 ページ
8. その他	11 ページ
(1) 支部長会議報告	11 ページ
(2) 事務局から	11 ページ

資 料

2014年度支部独自活動計画(提出資料)	12 ページ
役員名簿(第28期2013年度)	13 ページ
東北支部規則	14 ページ
東北支部細則	15 ページ
第37期第2回支部長会議 議事次第及び資料 もくじ	別紙1
九州支部「こども気象学会」の実施状況など	別紙2

1. 支部長挨拶

2. 役員の交代

- ・2014年4月人事により
牧原支部長は定年退職
丹治理事は異動
白川理事は異動
小室会計監査は台内異動

- ・**全国理事選挙**
岩崎理事が立候補 3月10日[月]付 結果発表
第38期理事候補者選挙において当選

- ・**東北支部第28期役員の任期は2013年度まで**
 - ・2014年度早々に第29期役員の選挙を実施したい(今月中には告示)
 - ・選挙後の後任者の就任までは支部規則第14条に沿う
 - ・支部長の代行は支部規則第10条に沿う
異動される方の後任は以下の予定
高瀬 邦夫 氏：牧原支部長の後任
佐伯 芳 氏：丹治支局長の後任
渡辺 真二 氏：白川理事の後任
 - ・選挙管理人について

※ 日本気象学会東北支部第28期役員名簿は、13ページのとおりです。

3. 2013年度事業報告

1) 秋季大会

日時：平成25年11月19日（火）～21日（木）

場所：仙台国際センター

参加者 821名

2) 東北支部気象講演会

日時：平成25年10月20日（日） 13時00分～15時30分（開場12時30分）

場所：弘前大学創立50周年記念会館「みちのくホール」

テーマ：「身近な風を知る - 突風とヤマセ」

講演 ①「突風研究の最前線」

楠 研一氏（気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部第四研究室長）

講演 ②「ヤマセの観測」

児玉 安正氏（弘前大学 大学院理工学研究科 寒地気象実験室長）

後援：青森県、弘前市、弘前大学大学院理工学研究科、アップルウェーブ株式会社

参加人数：約70名（一般市民、学生及び防災に関わる機関や団体職員）

東北支部だより第78号（2014年2月発行）に開催報告を掲載

3) 東北支部気象談話会

日時：平成25年10月21日（月） 13時30分～15時

場所：仙台管区気象台 第1会議室（3階）

演題：「冬季日本海側の竜巻等突風に関する最新研究」

楠 研一氏（気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部第四研究室長）

共催：仙台管区気象台

参加人数：約40名（気象台職員、気象学会員）

4) 支部強化基金による活動

第4回気象サイエンスカフェ東北

日時：平成26年3月9日（日）13時30分～15時00分

場所：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）研修室2

テーマ：「竜巻から身を守る」

-竜巻などの激しい突風からどのように身を守るかを考えてみよう-

話題提供：白川 栄一（仙台管区気象台気象防災部予報課予報課長）

司会：鈴木智恵（日本気象協会東北支局 気象予報士）

参加人数：36名（一般参加者13名）

共催：日本気象協会東北支局・仙台管区気象台

5) 東北支部だより

第76号 (2013年7月発行)

- ・ 支部長就任挨拶：牧原康隆氏 (日本気象学会東北支部長)
- ・ 東北地方で行われている研究プロジェクト(VI)「世界自然遺産白神山地ブナ林における森林環境モニタリング」：石田祐宣(弘前大学大学院理工学研究科)
- ・ 第3回 気象サイエンスカフェ東北：杉山公利氏(日本気象予報士会東北支部)
- ・ 気象業務法及び国土交通省設置法の改正について：蕪澤浩氏 (仙台管区气象台)
- ・ 2012年度第2回支部理事会議事録

第77号 (2013年10月発行)

- ・ 東北地方で行われている研究プロジェクト(VII)「領域モデルによる福島県付近で起きた顕著現象の再現実験」：三瓶岳昭氏(会津大学先端情報科学研究センター)
- ・ 支部気象講演会を弘前市で開催します：共催 青森地方气象台
- ・ 東北支部談話会：事務局

第78号 (2014年2月発行予定)

- ・ 防災気象情報の周知・広報はアイデアで！－防災気象情報の認知度を上げるために取り組んできたこと－：和田幸一郎 (仙台管区气象台)
- ・ 平成25年度 支部気象講演会報告：肆矢雄三 (青森地方气象台長)、楠研一氏 (気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部第四研究室長) 児玉安正 (弘前大学大学院理工学研究科 寒地気象実験室長)
- ・ 第4回「気象サイエンスカフェ東北」開催について：事務局
- ・ 日本気象学会東北支部 臨時理事会 議事録：事務局

6) 支部理事会

第1回 (2013年 5月28日, 仙台管区气象台第3会議室)

臨時 (2014年 1月20日, 仙台管区气象台第3会議室)

第2回 (2014年 3月14日, 仙台管区气象台第3会議室)

7) 平成24年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の公募

申請はなし

8) 日本気象学会奨励賞の推薦

山形地方气象台 阿曾 知子氏 を推薦中

4. 2013年度会計報告

〔支部一般会計〕（2013年4月1日～2014年3月25日）

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	578,000 円	578,000 円	0 円
前期繰越金	97,146 円	97,146 円	0 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	50 円	245 円	195 円
事業活動収入計(1)	675,196 円	675,391 円	195 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部だより	230,000 円	200,015 円	29,985 円
支部気象講演会	250,000 円	210,246 円	39,754 円
支部気象研究会	0 円	0 円	0 円
気象サイエンスカフェ補助	0 円	73 円	△73 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	108,000 円	57,480 円	50,520 円
支部役員選挙	20,000 円	6,750 円	13,250 円
事務費	10,000 円	17,190 円	△7,190 円
事業活動支出計(2)	633,000 円	506,754 円	126,246 円
III 予備費支出			
予備費支出	42,196 円	0 円	42,196 円
予備費支出計(3)	42,196 円	0 円	42,196 円
当期収支(A)=(1)-(2)-(3)	0 円	168,637 円	
次期繰越額(A)	0 円	168,637 円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

*本会計報告には、第2回支部理事会費用35,000円程度と東北支部第29期役員選挙告示費用20,000円程度が組み入れられていないため、最終的な繰越金は150,000円程度となる見込みです。最終的な収支計算書は、新年度第1回支部理事会でご報告します。

本部へは今後の収支も組み入れた4/1～3/31の会計を報告します。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	85,000 円	85,000 円	0 円
気象予報士会分担金	10,000 円	0 円	△10,000 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入	0 円	0 円	0 円
事業活動収入計(1)	95,000 円	85,000 円	△10,000 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	30,000 円	28,350 円	1,650 円
講師謝金	15,000 円	0 円	15,000 円
事務費	25,000 円	15,972 円	9,028 円
役務費・交通費	25,000 円	29,080 円	△4,080 円
会場費 開催費	円	11,671 円	△11,671 円
事業活動支出計(2)	95,000 円	85,073 円	9,927 円
当期収支差額=(1)-(2)	0 円	△73 円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

5. 2013年度会計監査報告

預金通帳, 現金, 領収書を照合の結果, 誤りがないことを認めます。

2014年3月 /2日

日本気象学会東北支部会計監査

小室 肇 

6. 2014年度事業計画案

1) 東北支部気象講演会

2007年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2007年度	青森市	板谷 宏之	児玉 安正	
2008年度	福島市	渡邊 明	大久保 忠之	
2009年度	大崎市	境田 清隆	大場 淳司	
2010年度	秋田市	佐藤 威	栗田 邦明	
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹	神田 英司	
2012年度	山形市	阿部 修	柳澤 文孝	
2013年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正	

2014年度は福島県で開催予定です。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

2015年度は宮城県で開催。今後(2014年秋以降)準備を進めていくこととします。

(担当理事は境田理事及び、在仙の理事)

2) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台の調査研究会に合わせて共催で開催予定。

2014年度の開催については、仙台管区気象台 防災調査課と検討

3) 東北支部だより

年3回発行(第79号、80号、81号)の予定。

4) 支部理事会

年2回(6月、3月頃予定)開催している

2014年度第1回理事会は、支部役員選挙後、例年どおり5~6月頃に開催する

2014年度第2回理事会は、全国支部長会議で東北支部の意見を取りまとめたため1月に開催する

(年度末に第3回理事会を行うのは、旅費の都合上厳しい)

5) 支部強化基金による活動

気象サイエンスカフェ東北を秋頃に仙台市で開催する。今後、準備を進めていく

(別紙参照[P12])

6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

7. 2014年度予算案

〔支部一般会計〕

	2014 年度予算額	2013 年度予算額	増 減
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	*1572,000 円	578,000 円	△6,000 円
前期繰越金	*2168,637 円	97,146 円	71,491 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	50 円	50 円	0 円
事業活動収入計(1)	740,687 円	675,196 円	65,491 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部だより	230,000 円	230,000 円	0 円
支部気象講演会	250,000 円	250,000 円	0 円
支部気象研究会	40,000 円	0 円	40,000 円
気象サイエンスカフェ補助	0 円	0 円	0 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	70,000 円	108,000 円	△38,000 円
支部役員選挙	20,000 円	20,000 円	0 円
事務費	10,000 円	10,000 円	0 円
事業活動支出計(2)	635,000 円	633,000 円	2,000 円
III 予備費支出			
予備費支出	105,687 円	42,196 円	63,491 円
予備費支出計(3)	105,687 円	42,196 円	63,491 円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	0 円	0 円	0 円
次期繰越収支差額(A)+(B)	0 円	0 円	0 円

※マイナスの金額には、△印を付しました。

*1本部交付金は、支部会員185名×1,200円+35万円で計算

*2本会計予算報告には、2013 年度第 2 回支部理事会費用 35,000 円程度と東北支部第 29 期役員選挙告示費用 20,000 円程度の計上前の決算案を元に行っているため、最終的な前期繰越金は 150,000 円程度となる見込みです。最終的な予算案は、新年度第 1 回支部理事会でご報告します。

8. その他

(1) 支部長会議報告

(2) 事務局から

①東北支部会員数（個人会員）

2014年3月6日現在

県名	会員数	2013.04
青森県	25名	24名
岩手県	21名	19名
秋田県	13名	14名
山形県	14名	14名
宮城県	89名	92名
福島県	23名	27名
合計	185名	190名

5名減

②旅費等について

交通費については

青森は 21,000円 [10500円×2]

弘前は 22,300円 [11110円×2]

盛岡は 12,200円 [6090円×2]

山形は 2,100円 [900円×2+140円×2]

福島は 2,600円 [1280円×2]

仙台、岩沼は1,000円をお願いします。

※端数は切り上げています。

[別紙]

東北 支部(1/1)

2014年度支部活動強化基金の補助を受けた支部活動計画

1 事業名

気象サイエンスカフェ東北

2 概要

(1) 事業の意義、必要性、事業内容の概略

一般の方が興味をもつような気象のトピックスを取り上げ、専門家にわかりやすく解説していただき、また、十分な時間を確保して、議論することで理解を深めていただく。

気象知識の一般への普及の面では効果的と思われる。

(2) 実施の時期及び場所

2014年度(開催月は未定)

仙台市

(3) 事業の対象者

一般市民、会員、気象予報士、気象台職員など

3 経費の概算

合計	77,000円
内訳	
資料印刷費	22,000円
講師謝金	15,000円
役務費	20,000円
事務費	20,000円

4 連絡先及び担当者

宮城県仙台市宮城野区五輪 1-3-15 仙台管区気象台内

金濱 晋 (Tel: 022-297-8177 IP: 特番-201-2299)

東北支部長 牧原 康隆



日本気象学会東北支部第 28 期 2013 年度役員名簿

平成 25 年 10 月 1 日現在

支部長	牧原 康隆	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	岩崎 俊樹	東北大学大学院教授（理学研究科）
	境田 清隆	東北大学大学院教授（環境科学研究科）
	白川 栄一	仙台管区気象台気象防災部予報課長
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	丹治 和博	日本気象協会東北支局長
	韭澤 浩	仙台管区気象台気象防災部長
地方理事	児玉 安正	弘前大学大学院准教授（理工学研究科）
	高橋 清利	福島地方気象台長
	肆矢 雄三	青森地方気象台長
会計監査	小室 肇	仙台管区気象台気象防災部 気象防災情報調整官
幹事	山崎 剛	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	折笠 成宏	仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官
	金濱 晋	仙台管区気象台気象防災部地球環境・海洋課 技術専門官

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（2～3 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和33. 7. 5	成立
昭和40. 11. 18	1項を改正
昭和41. 3. 15	7項を改正
昭和60. 3. 19	12、13、14の各項を改正
平成6. 2. 28	1、8、9、12、13の各項を改正
平成22. 6. 11	1項を改正

役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より8～11名選出する。このうち在仙理事5～8名地方理事3名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より1名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の20日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の30日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第2項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の10分の1に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第9項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第9項または第12項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上